

新年のご挨拶

2017年1月1日
憲法が輝く兵庫県政をつくる会
代表幹事 津川知久

新年がむこうからやってきました。七月には県知事選挙もやってきます。

暴走＝平和の問題（九条）に加えて年金・医療介護（二五条）そして沖縄問題では地方自治も国家主権も無視・放棄、などなど憲法無視の数々。極右＝靖国史観にとらわれ、侵略戦争だったことをみとめない。退廃＝バクチが経済活性源だとおっしゃる。内弁慶＝トランプやプーチンにもの言えない。混乱＝南スーダンへの武器輸出禁止等の制裁措置に反対？アメリカは大賛成なのに？！

そんなアベ政治と二人三脚するのが井戸県政。「憲法集会の後援はしません」に基本姿勢があきらかです。米艦船を姫路港に招き入れ、オスプレイを県主催の防災訓練に呼ぼうとする。老人医療助成事業はカット。高校学区拡大で生徒をいじめる。

なかなか変わらないなと思いながらも積み重ねてきたことが、いまたしかな力として見えてきています。総選挙でも動きつつある市民の共同と野党共闘の結合。これを県知事選にも。やってきた新年とやってくる選挙、こちらは地域・職場からの共同でお迎えしましょう、ごいっしょに。